

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【公表番号】特表 2010-521877 (P2010-521877A)
 【公表日】平成 22 年 6 月 24 日 (2010.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-025
 【出願番号】特願 2009-553632 (P2009-553632)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

H 0 4 W 24/10 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 2 6 4

H 0 4 Q 7/00 2 4 5

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ワイヤレス送受信ユニット (W T R U) であって、
 周波数リソースブロックの N グループのそれぞれについてのチャネル品質の指標 (C Q I) を決定するように構成されたプロセッサを備え、
 前記周波数リソースブロックの N グループは、ダウンリンク帯域幅を分割し、
 前記プロセッサは、N のチャネル品質インジケータのそれぞれを異なる報告送信時間間隔 (T T I) の中で送信するように構成される、ことを特徴とするワイヤレス送受信ユニット (W T R U)。

【請求項 2】

前記報告送信時間間隔およびその報告送信時間間隔の中で報告される前記周波数リソースブロックのグループは、前記 W T R U およびワイヤレスネットワークによって送信より前に知られていることを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 3】

前記プロセッサは、対応する周波数リソースブロックについての少なくとも他のレイヤーに対応するチャネル品質インジケータを示す前記 N のチャネル品質インジケータの情報のそれぞれと一緒に送信するようにさらに構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 4】

前記報告送信時間間隔のそれぞれの送信は、前記ダウンリンク帯域幅内の前記グループの位置の指標を含まないことを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 5】

ワイヤレス送受信ユニット (W T R U) によって、周波数リソースブロックの N グループのそれぞれについてのチャネル品質の指標 (C Q I) を決定するステップであって、前記周波数リソースブロックの N グループはダウンリンク帯域幅を分割する、ステップと、
 前記 W T R U によって、N のチャネル品質インジケータのそれぞれを異なる報告送信時間間隔の中で送信するステップと
 を備えることを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記報告送信時間間隔およびその報告送信時間間隔の中で報告される前記周波数リソースブロックのグループは、前記 W T R U およびワイヤレスネットワークによって送信より前に知られていることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

対応する周波数リソースブロックについての少なくとも他のレイヤーに対応するチャネル品質インジケータを示す前記 N のチャネル品質インジケータの情報のそれぞれと一緒に送信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記報告送信時間間隔のそれぞれの送信は、前記ダウンリンク帯域幅内の前記グループの位置の指標を含まないことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

ワイヤレスネットワークノードであって、

N の報告送信時間間隔 (T T I) で 1 つのワイヤレス送受信ユニット (W T R U) からチャネル品質の指標 (C Q I) の情報を受信するように構成されたプロセッサおよびレシーバーを備え、

前記 N の報告 T T I のそれぞれの前記 C Q I の情報は、周波数リソースブロックの N グループのそれぞれの 1 つに対応し、

前記周波数リソースブロックの N グループは、ダウンリンク帯域幅を分割する、ことを特徴とするワイヤレスネットワークノード。

【請求項 10】

それぞれの報告送信時間間隔およびその報告送信時間間隔の中で報告される前記周波数リソースブロックのグループは、前記ワイヤレスネットワークノードによって受信より前に知られていることを特徴とする請求項 9 に記載のワイヤレスネットワークノード。

【請求項 11】

前記プロセッサは、対応する周波数リソースブロックについての少なくとも他のレイヤーに対応するチャネル品質インジケータを示す N のチャネル品質インジケータの情報のそれぞれと一緒に受信するようにさらに構成されることを特徴とする請求項 9 に記載のワイヤレスネットワークノード。

【請求項 12】

前記 N の報告 T T I で受信される情報は、前記ダウンリンク帯域幅内の前記グループの位置の指標を含まないことを特徴とする請求項 9 に記載のワイヤレスネットワークノード。

【請求項 13】

前記プロセッサは、前記 N の報告 T T I のそれぞれの C Q I 情報から前記 N グループの全てについての C Q I を決定するようにさらに構成されることを特徴とする請求項 9 に記載のワイヤレスネットワークノード。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

ハイブリッド B e s t - M 差分 (hybrid best-M differential) に指定されている、第 1 の実施形態内の代替スキームは、必要とされるオーバーヘッドをさらに低減することができる。代替スキームにおいて、前述のハイブリッド b e s t M スキームにおけるように、Q 個の位置指標を送信して、1 個は、b e s t - M のサブバンド用であり、および Q - 1 個は、Q 個のグループのうちの Q - 1 個のグループの帯域用である。しかしながら、代替スキームにおいて、Q 個のグループに順序付けをし、および Q 個のグループのうちの第 1 のグループに対する第 1 の品質メトリックの平均値の 1 つ だけを報告する。残りの Q

- 1 個の第 1 の平均値を、各々の平均値と、順序において先行する平均値との差として、各々報告する。第 2 の平均値を、第 2 の平均値と、最後の第 1 の平均値との差として、報告する。